



2009年8月9日
号外

民主党プレス民主編集部

〒100-0014
東京都千代田区永田町1-11-1
電話03-3595-9988 (代表)
press@dpj.or.jp
http://www.dpj.or.jp

明日の日本 生活が第一

民主党マニフェスト説明会 in 兵庫

地域主権への大転換を鳩山代表

鳩山由紀夫代表は3日、全国各地で開催予定の「マニフェスト説明会」の第一弾として、近畿ブロックが神戸市で開催した「民主党マニフェスト説明会 in 兵庫」に出席、約350人を前に政権交代をスタートとして国民主導の政治を展開すると主張して、理解を求めました。



鳩山代表は「マニフェストは4年間で政党が何を実現するかをまとめた国民の皆さんとの契約であり、それが実現できない場合には責任をとらなければならない政策提言」だとその重要性を改めて指摘しました。そのうえで、次期衆院選挙は、自民党政治を終焉させるという小さな話ではない、明治維新以来続いてきた大きな二つ、「官僚にコントロールされている現在の官僚内閣制から真の意味での議院内閣制への転換」と「中央集権から地域のことは基本的に地域で解決できる地域主権への転換」という命題を抱えて戦うと表明。鳩山代表は政権構想にも言及し、「閣僚委員会」と「行政刷新会議」を両輪とすることで、官僚主導から政治家主導の政治へ転換していくと述べ、国民の皆さんの思いを実現させていきたいと語りました。

続いて直嶋正行政策調査会長が、マニフェストの主要政策5本柱である①ムダづかい根絶、②子育て・教育支援、③年金・医療の制度改革、セーフティネットの再構築、④地域を活性化するための地域主権、⑤雇用・経済対策——と、民主党政権が政策を実行する手順、工程表を説明しました。

連合でも説明会 直嶋政調会長

直嶋正行政策調査会長と大塚耕平同副会長は3日、連合本部を訪れ民主党のマニフェストを説明し、意見交換しました。



直嶋政調会長は、各党のマニフェストが出揃ったので政策と政治手法について全力で議論する考えを示したうえ、5つの約束、政権構想、実行手順などを説明しました。大塚政調副会長は、財源と成長戦略の問題に対する考え方を補足説明。約束した重要政策の所要額16兆円は、国の総予算207兆円から一番最初に予算配分するため、その財源がないという批判は当たらないとしました。

小沢代表代行が橋下大阪知事と対談

統治機構を変えることで一致

小沢一郎代表代行は4日、大阪市内のホテルで橋下徹大阪府知事と会談し、地方分権について意見交換しました。



会談終了後、小沢代表代行は記者団に対し、「霞が関の中央主権的な統治機構を根本から変えなければいけない、身の回りのことは地方が行い、国は国家レベルのことに集中して取り組むべき」との民主党の主張に対し、橋下知事も認識は共通しているとしてお互いに、「明治以来続いてきた国の統治機構を根本的に変える」ことで意見が一致したと報告。マニフェストで地方と国との協議機関云々について特に強調していないことは、「統治の仕組みを全面的に変えるのだから、その場を設けるのは当然」だとして、心配には及ばないとしました。